

委員会等活動報告

●青年技術士交流委員会

技術士の知名度向上に向けて ～なりたい職業 No.1 を目指して～

1. 現在の青技交

当会(通称:青技交)は、青年技術士の交流促進と資質向上を目的として活動をしており、前身の青年技術士協議会の時代を含めると、まもなく設立から28年目となります。(記念すべき30周年は、平成31年10月に迎えます!)

現在、当会を運営している幹事は、技術士を中心に38名(うち、士補6名)で、平均年齢は38歳(年齢構成は、20代7名、30代13名、40代18名)となっています。私が35歳で入会した当時は、私がほぼ最年少の幹事でしたので、その頃から比べると年齢層はぐっと下がってきました。

2. 現在の取り組み

本報告のタイトルである「技術士の知名度向上に向けて ～なりたい職業 No.1 を目指して～」は、第40回 技術士全国大会(札幌)での“青年の集い”にて宣言した、青技交の活動テーマです。

現在は、この宣言を念頭に、これまでに培われてきた当会の伝統をしっかりと守りつつ、新たな取り組みへのチャレンジを続けているところです。以降では、定期的な講演会や見学会に加えて、現在、特に力を入れている取り組みの内容を報告します。

1)多様な交流の場の創出、求められる資質の向上

当会の名称にある「交流」を見つめなおし、多様な交流の場を創出することに力を入れています。

- ・若手技術者を対象にしたイベントの企画
⇒新合格者や技術士の卵を中心とした研修会
⇒合格者祝賀会における二次会の開催
- ・大学生とのコラボイベントの企画
⇒青年技術士と合同で現地見学会を開催

仁 田 智 (にた さとし)

技術士(建設部門)

北海道本部
青年技術士交流委員会 委員長
(株)雪研スノーイーターズ 技術部



- ・全国イベントへの積極的な参加
⇒全国大会(北陸・富山)に12名参加
⇒日韓大会(韓国・春川)に2名参加
⇒震災5周年シンポジウムに10名参加
⇒中部青年30周年記念大会に5名参加
- ・幹事を対象にした勉強会や交流会の開催
⇒幹事同士の仕事紹介プレゼンによる技術交流
⇒冬合宿(温泉宿に宿泊)での交流・企画会議

2)社会とのつながりを重視した活動、情報発信

社会とのつながりを重視した活動を展開するとともに、多様な方法での情報発信を試みています。

- ・ホームページやfacebookによる情報発信
- ・技術士グッズの企画と製作
⇒技術士ノートの製作とバージョンアップ
- ・一般公開での講演会を3年連続で開催中
- ・小学生などの低年齢層を対象にした企画
⇒青少年科学館での公開イベントをサポート
⇒幹事の子供を中心に野外レクリエーション
- ・「技術士を知ろう」を教育機関にて継続開催中
⇒今年は高専2校、大学2校にて開催
⇒今後、高校1校でも開催を予定

3. 未来に向けて

本報告は、当会の現在の取り組みを報告するとともに、将来の幹事が過去の活動を振り返る際の資料のひとつとなれば、との思いで寄稿しました。

将来、本報告のタイトルが現実のものとなることを夢見て、幹事一同、今後も積極的に活動を展開していきます。北海道本部が60周年を迎える10年後には、現在の活動がさらに進展・発展し、より良い活動報告がなされることを信じてやみません。